

# 環境経営情報システム

環境負荷とコストを集計し、環境経営を推進するための意思決定支援システムです。

環境経営を実現するための的確な意思決定を行うためには、その裏づけとなるデータが必要です。そのためにリコーグループでは、「環境負荷情報システム」と「環境会計システム」から構成される「環境経営情報システム」を構築し、事業活動の工程ごとの環境負荷、環境改善コスト、環境改善の効果を把握しています。2002年度以降は、このシステムを世界のリコーグループで構築・運用して行きます。

## 環境負荷情報システム

コメントサークル<sup>\*1</sup>のコンセプトである「全ステージでの環境負荷の把握と削減」に基づいて、事業活動の各工程および活動全体の環境負荷を把握するためのシステムです。これにより、環境負荷の大きい工程から重点的に改善して行くことができます。また、社会への情報開示のためにも、LCA的な環境負荷の把握は重要です。集計した情報をもとに、事業活動全体の「エコバランス<sup>\*2</sup>」を把握し、環境行動計画<sup>\*3</sup>の策定に役立てると共に、環境行動計画の進捗管理も行っています。

\*1 13ページを参照。  
\*2 25ページを参照。  
\*3 18ページを参照。

## 環境会計システム

環境負荷情報システムの環境保全効果データと、会計システムの環境コストデータを集計・加工することにより、「コーポレート環境会計<sup>\*</sup>」をタイムリーに把握するためのシステムです。環境経営および社会への情報開示に役立てています。

\* 75ページを参照。



